２００３年度
（社）日本青年会議所　北海道地区　道南ブロック協議会

会　員　交　流　室
運営方針（案）

会員交流室
室長　　望月　孝一

□ 方針 □

会員交流室では、「現場主義」をモットーに解からない事があれば、現場へ足を運び己の五感を研ぎ澄まし実際に体験する事でメンバーが英知を駆使し、情熱を持って“チームワーク”で各事業を積極的に実践することにより、強固なネットワークを築き道南伝統の「出逢いと感動」を共有するたくましい道南の大地を創り上げてまいります。

「道南ネットワーク委員会」においては、オンリーワンのまちづくり運動の調査と検証する上で道南１６ＬＯＭのまちづくりに関する事業等の情報収集と個々の事業へ参加、体験したものをまとめ、情報発信し LOM 間での人的交流・支援がこれまで以上に活性化できるように強固なネットワークを構築してまいります。また、道南ブロックスポーツ大会を始め、セミナーや研修の場の支援を行なってまいります。

「大地の教育づくり実践委員会」については、たくましい「ひとづくり」をテーマに、道南 16ＬＯＭでこれまで取組んできた青少年育成事業を検証し、この道南の大地を活用して、それぞれのＬＯＭとアカデミー塾生を交えて YD 系・育成事業について語り合い、子ども達と道南の大地の特色を活かした青少年育成事業を実践してまいります。そして、青少年育成事業の検証を、北海道地区協議会・日本ＪＣとの連携の中で報告、情報発信してまいります。

価値（ほんもの）の時代の中で価値在る交流をめざして共に夢を夢で終わらせるのではなく、かたちに変えて行く私達青年の力を「挑戦への勇気」を持ち、「たくましく生きる・たくましい地域」の為にこの道南の大地から発信してまいります。

２００３年度
（社）日本青年会議所　北海道地区　道南ブロック協議会

会　員　研　修　室
運営方針（案）

会員研修室

室長　　石原　諭

□ 方針 □

青年会議所運動って何だろう・・・
このままで良いのだろうか・・・
こんなＪＣ運動に対する疑問と不安が大きく自分を包み込んだ事はありませんか。
ＪＣは、黙っていても一人ひとりに平等に何かを与えてくれるところではなく、自らが積極的に行動し、自分自身の力で掴み取る修練の場であります。
誰もが入会当時に抱いていた希望と目標を能動的に研鑽につとめ、たくましいＪａｙｃｅｅへと進化しなければなりません。

入会３年目までの若いメンバーが集うアカデミー研修委員会では、まさに積極的に行動し、自己をアピールするとともに思いやりの心をもって仲間に愛情を注ぎ、時には自分自身を振り返り、新しい価値観を見つける最適の青春道場であります。
ＪＣライフの中で一度しか経験できない塾生という立場で積極的にＪＣ運動に取り組み、自己修練、団結を深め、人間味あふれるたくましいＪａｙｃｅｅを育んでいきたいと考えます。

「ＬＯＭ支援センター」研修委員会では道南１６ＬＯＭの活性化をキーワードに各ＬＯＭが新しい輝きを放ちながら進化する事を日本ＪＣとの接点としてのブロック協議会の役割を認識し、能動的に事業展開してまいります。また、揚原会頭が推進されております「ＬＯＭ支援センター設立」という大きな課題に道南ブロック協議会としても積極的に取り組み、道南１６ＬＯＭとともにたくましい道南の大地を創り上げてまいります。

会員研修室は、たくましく生きる為に貢献する心を体現し、新しい自分へ“Ｂｒｅａｋｔｈｒｏｕｇｈ！”を実現する研修の場になるよう、一年間取組んでまいります。